
「支部だより」2007年9月号

福岡県理学療法士会 支部広報
編集責任：落合 裕之(北九州支部長)

北九州1地区部長 近藤 直樹 北九州市立総合療育センター

今年4月より北九州1地区部長を拝命しました近藤直樹と申します。どうぞ宜しくお願いします。

当地区は、今年度より地区部長が交代し、また、新しく運営委員として地区の運営に携わってくださる委員も半数以上が入れ替わり、部長を含め17名にてスタートしました。運営委員の顔ぶれを見渡せば、10～20年目のベテランの方もいらっしゃいますが、多くは20～30歳台前半と若い世代が集結しました。この年代は、私も含め、今後の県士会を背負っていかねばならない世代であるため、早くから県士会の運営に何かしらの形で携わっていくことは大変貴重なことであると思います。しかし一方で、これまで諸先輩方が築いてくださったこの県士会の歴史を継承していかねばならないというプレッシャーもあると思います。私自身も、これまで地区運営委員を3期6年させていただき、これまでは、自己のことで精一杯の部分もありましたが、地区部長となった今、より自覚していかねばならないと言いつけていただいているところです。

県士会全体の行事、また支部、地区の活動に参加することは、様々なメリットがあると思いますが、そのメリットをどのように生かすかは各会員次第です。自己研鑽のために研修会や勉強会に参加するもよし、懇親会などでより多くの会員と面識を持つもよし・・・提供されている様々な場を上手に利用していただければと思います。地区としても、上記のような場をより多く提供できるよう運営委員一同試行錯誤しながらも頑張っていきたいと思っておりますので、今後も各々が理想として掲げている理学療法士になれなるように頑張っていきましょう。そして、県士会を大いに盛り上げていきましょう。

最後に、当地区運営の顔である運営委員の紹介をして巻頭言を締めたいと思います。今後どうぞ宜しくお願いします。

北九州1地区部長 近藤 直樹 / 北九州市立総合療育センター
運営委員事務担当 加藤 正和 / 社会保険小倉記念病院
学術担当 帆足俊一郎 / 北九州中央病院
社会担当 鳥井 聡 / 日本海員掖済会門司病院

運営委員

横田 正輝 / 大原病院	藤井 弘通 / 新行橋病院
谷 恒平 / 新行橋病院	安本由美子 / 健和会大手町病院
松崎 稔晃 / 東和病院	河本 浩勲 / 社会保険小倉記念病院
平原 寛隆 / 新小倉病院	西口 有里 / 北九州市立総合療育センター
岡部 貴文 / 小文字病院	藤川 拓也 / 小文字病院
右田 寛 / 九州労災病院	児玉 大志 / 北九州中央病院
伊藤 元貴 / 小倉リハビリテーション病院・伸寿苑	(順不同)

各地区からの声便り(印象記)

支部および各地区からの最新の生の声を掲載しました。ちょっと耳を傾けてみてください。

<わっしょい百万夏祭り・百万踊り>

「わっしょい百万夏祭りに参加して」 北九州中央病院 瓜生 功祐

今回、福岡県理学療法士会の一員として、わっしょい百万夏祭りに参加しました。わっしょい百万夏祭りに参加することが決まり、最初は正直見たこともない祭りに参加して、人前で踊ることに戸惑いを感じていました。しかし、理学療法士会の法被を着ることで、福岡県の理学療法士としての責任を感じる事が出来ました。そして、いざ祭りが始まると、周りの声援や県士会の方々の掛け声で気持ちが高ぶってきました。さらに、県士会の連帯感というものを次第に感じる事が出来ました。

また、普段は病院内のスタッフとしか接する機会がない中で、このような場を通して様々な病院・施設の方々と交流を深めることが出来たと思います。今回、祭りに参加したことで理学療法士という職種を知ってもらえたと思います。これからも、理学療法士という立場で地域に貢献していきたいと思います。

<理学療法週間啓発活動>

北九州1地区

去る7月10日に理学療法週間の啓発イベントを北九州市立足原小学校にて開催し、小学6年生の児童や教師、運営スタッフをあわせて約120名と多くの方に参加をしていただくことができました。イベントでは、「理学療法って何?」という運営スタッフからの手作り鑑賞劇の披露や車いす体験、また、プロ車いすバスケットボール選手からのデモンストラクションなど、とても有意義なイベントを開催することができ、理学療法(士)を十分にアピールできたのではないかとと思います。

下記に当日運営スタッフとして参加された方の印象記を掲示します。

(北九州1地区部長 近藤 直樹)

「理学療法週間啓発活動に参加して」 財団法人健和会 大手町病院 宮崎安史

今年の春に理学療法士になり、県士会の行事やボランティアには初めての参加でした。事前に先年のイベントのDVDを参考に見ましたが、実際はどのような雰囲気で行われるかわからず不安な面がありました。また他院や他施設の先生方と面識が全くなかったため、緊張した状態でした。しかし、イベントが始まり諸先生方の熱意のある姿を見て、自分も小学生に何か伝えるものはないかと思いながら取り組み、気が付けば不安や緊張などはありませんでした。

今回、リハビリテーションや理学療法士を紹介するいい機会に参加でき、とても有意義な時間を過ごす事ができました。次回の県士会の行事にも参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。

北九州2地区

「どうですか？みなさんも参加してみませんか？」 北九州2地区部長 中井聖一

先日、北九州2地区では理学療法の啓発活動の一環として筒井小学校にて小学校3年生を対象に障がい体験・車いす体験・寸劇「理学療法って何？」を行いました。そして車いすバスケット選手に、スピード感あり、迫力ありのデモンストレーションをして頂きました。数日後、生徒からの作文が届き、心を熱くさせられました。

「車いすのバスケットボールはとっても早いスピードですごかったです。」「げきは、ほとんどわらっていました。笑いすぎて、おなかがいたくなってもわらいました。そうとうおもしろかったです。またこんど来てください。」喜んでくれてありがとう。「右手がふじゆうだったときのたいけんも左手で字を書くのはむずかしかったです。」「車いすにのっている人は、かんたんなのかなと思っていました。でも、じっさいにやっていると、とってもむずかしくて、とってもびっくりしました。」「思ったより大へんだったので車いすを使っている人たちの気もちがよく分かりました。」「障がいがある人の苦勞が分かったようです。」「しょうがいがある人を見かけたらずけてあげたいです。」その心を大切にしてください。」「ぜったいに、びょうきにならないようにしようと思いました。」子供たちの感性は様々で読んでいてとてもおもしろかったです。

理学療法の啓発活動は、対象が様々でまたその方法も様々です。「理学療法とはこのようなことです。このようなことをします。」ということアピールするだけでなく、理学療法士が人々に印象に残る、思い出に残ることをすることも必要なのではないのでしょうか？その結果、「理学療法士ってどんな職業ですか？」と興味・関心を持ってもらうことが重要だと思えます。

そして、それはすぐに結果が求められるものではないと思えます。地道な努力が必要だと思えます。そのためには多くの会員の協力が必要です。

どうですか？このような活動にみなさんも参加してみませんか？ たくさんの意見を聞かせてください。



< 新人 PT からのメッセージ >

筑豊地区

「はじめまして」

麻生飯塚病院 西村天利

初めまして、四月から飯塚病院に就職いたしました西村天利です。

私は四月から社会人として歩み始めていますが、実際に働いてみて感じた事は、コミュニケーションの重要性です。知識はもちろん大切ですが、それ以上に患者様の状態が刻一刻と変化する中で、患者様の状態を把握する為には、他職種との情報交換は不可欠だと思います。また、飯塚病院が急性期の病院という事もあり、リスク管理が重要と考えます。このリスク管理を行う上でも、他職種との連携は必要だと強く感じております。

現在、一年目で右も左も分からず、上手くいかないことが多々あります。しかし、患者様の「ありがとう。」の一言でとても励まされ、勇気付けられます。今の私に出来る事は目の前にいる一人一人の患者様に最善を尽くすことだと思います。この気持ちを忘れずに、これからも過ごしていこうと思います。

支部・地区からの案内

平成 19 年度の各地区からの学術や社会関係の情報を紹介します。内容・日時などの詳細が決定していない内容もありますが、分かる範囲での情報を掲示しますので、今後の支部および地区活動の参加のご参考にしてください。なお、不明な点につきましては、情報が入り次第掲載しますのでご了承ください。

< 学 術 >

北九州支部

平成 19 年度 支部研修会予定

第 2 回

日時：平成 19 年 10 月 14 日（日） 10：00～12：00

場所：新日鐵八幡記念病院 4 階 講堂

講師：産業医科大学病院 内田宗志 先生

内容：“スポーツドクタ - の観点からセラピストに期待すること”

第 3 回

日時：12～2 月中の予定（筑豊地区で予定）

講師：未定

内容：未定

北九州 1 地区

1. 地区勉強会予定

(1) 第 3 回地区勉強会

日時：平成 19 年 10 月 24 日（水）

19：00～21：00

場所：専門学校 九州リハビリテーション大学校

内容：1．世界と日本のスポーツ事情と理学療法士の関わり方
講師：岩野博 先生（プロ車椅子バスケットボール選手）

2．症例発表

(2) 第4回地区勉強会

日時：平成19年11月20日（火）

19：00～21：00

場所：北九州リハビリテーション学院

内容：呼吸器疾患について

講師：津田徹 先生（霧が丘つだ病院院長）

(3) 第5回地区勉強会

日時：平成20年1月17日（木）

19：00～21：00

場所：専門学校 九州リハビリテーション大学校

内容：成人片麻痺患者に対するADLの治療的アプローチ

講師：山口健一 氏（福岡リハビリテーション病院）

(4) 第6回地区勉強会

日時：平成19年2月21日（木）

19：00～21：00

場所：九州リハビリテーション大学校

内容：1．心臓リハビリテーションについて

講師：神崎良子 氏（九州リハビリテーション大学校）

2．症例発表

2... 症例検討研修会

日時：平成19年12月20日（木）

19：00～21：00

場所：専門学校 九州リハビリテーション大学校

内容：EBMと研究

講師：福田文雄 先生（北九州中央病院 回復期リハビリテーション病棟リハ
Dr.）

北九州2地区

1．地区勉強会予定

(1) 平成19年9月13日（木）

新日鐵八幡記念病院 19:00～21:00

「(仮)肩関節疾患の画像診断と治療について」

松浦 恒明先生（北九州市立若松病院）

(2) 平成19年10月18日（木）

新日鐵八幡記念病院 19:00～21:00

症例発表

(3) 平成19年11月15日（木）

新日鐵八幡記念病院 19:00～21:00

症例発表

(4) 平成19年12月中旬

場所：未定

症例検討研修会

筑豊地区

1. 地区勉強会予定

(1) 日時 平成 19 年 9 月 3 日 (月) 19:00 ~ 21:00

演題 「スポーツ外傷について」

講師 村上 秀孝先生 (村上外科病院副院長)

場所 麻生飯塚病院

(2) 日時 平成 19 年 11 月 吉日 19:00 ~ 21:00

演題 未定

講師 大隈先生 (リハ医・筑豊労災病院)

場所 未定

注意：各研修会や勉強会に参加の際は、会員把握のため、必ず生涯学習手帳もしくはカードをご提示下さい。もし、ご提示できない場合は、各研修会や勉強会に参加できないか、もしくは5000円徴収の上での参加となります。くれぐれもご注意ください！

< 社 会 >

「北九州支部レクリエーションのお知らせ」

例年秋に開催されています北九州支部レクリエーションにつきまして、今年度は下記の内容で開催いたします。会員皆様方多数の参加をお待ち致しております。

開催日：10月27日(土) 16:00頃よりレクリエーション開始

18:30頃より懇親会開始

レクリエーション会場：麻生塾ボウル 会費：1000円

所在地：飯塚市柏の森6-1 : 0948-21-0660

懇親会会場：レストランテ イタリアーノ 会費：4000円

所在地：飯塚市柏の森1-1 : 0948-22-4413

会場への案内

最寄駅は JR 新飯塚駅から車で5分ほどの場所です。

特に懇親会に参加される方は車でのご来場をご遠慮下さい。

JR 新飯塚駅からはタクシーなどをご利用されることをお勧めいたします。

(筑豊地区運営委員 一本松病院 中島 陽一)